

○ 農業協同組合等の自己資本の充実の状況等についての開示事項（平成十九年金融庁・農林水産省告示第四号）
 次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

（注）平成三十年六月八日公表の改正案適用後のもの。

改正後	改正前（注）
<p>（単体自己資本比率を算出する場合における事業年度の開示事項） 第二条 「略」</p> <p>2 「略」</p> <p>3 第一項の定性的な開示事項は、次に掲げる事項とする。 「一〇五 略」</p> <p>六 証券化エクスポージャーに関する次に掲げる事項 イ 「略」 ロ 自己資本比率告示第二百二十四条第一項第一号から第四号までに規定する体制の整備及びその運用状況の概要</p> <p>「ハ〇リ 略」 「七〇九 略」</p> <p>4 第一項の定量的な開示事項は、次に掲げる事項とする。 一 「略」</p>	<p>（単体自己資本比率を算出する場合における事業年度の開示事項） 第二条 「同上」</p> <p>2 「同上」</p> <p>3 「同上」 「一〇五 同上」</p> <p>六 「同上」 イ 「同上」 ロ 自己資本比率告示第二百五条第四項第三号から第六号までに（これらの規定を自己資本比率告示第二百三十条第二項において準用する場合を含む。）に規定する体制の整備及びその運用状況の概要</p> <p>「ハ〇リ 同上」 「七〇九 同上」</p> <p>4 「同上」 一 「同上」</p>

二 信用リスク（信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャー及び証券化エクスポージャーを除く。）に関する次に掲げる事項

〔イ〕ホ 略〕

へ 標準的手法が適用されるエクスポージャーについて、リスク・ウェイトの区分ごとの信用リスク削減手法の効果を勘案した後の残高（格付が付与されている信用供与の割合が信用供与の額全体の一パーセント未満である場合には、区分を要しない。）並びに自己資本比率告示第五十四条第二号、第百五十三条第二項第二号、第二百二十四条（自己資本比率告示第九十九条及び第百一条において準用する場合に限る。）並びに第二百二十四条の四第一項第一号及び第二号（自己資本比率告示第九十九条及び第百一条において準用する場合に限る。）の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用されるエクスポージャーの額

〔ト〕ヌ 略〕

〔三・四 略〕

五 証券化エクスポージャーに関する次に掲げる事項

イ 組合がオリジネーターである場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャーに関する次に掲げる事項

〔(1)〕(8) 略〕

(9) 自己資本比率告示第二百二十四条並びに第二百二十四条の

二 〔同上〕

〔イ〕ホ 同上〕

へ 標準的手法が適用されるエクスポージャーについて、リスク・ウェイトの区分ごとの信用リスク削減手法の効果を勘案した後の残高（格付が付与されている信用供与の割合が信用供与の額全体の一パーセント未満である場合には、区分を要しない。）並びに自己資本比率告示第五十四条第二号、第百五十三条第二項第二号及び第二百二十三条第一項（自己資本比率告示第九十九条、第百一条及び第百十條第一項において準用する場合に限る。）の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用されるエクスポージャーの額

〔ト〕ヌ 同上〕

〔三・四 同上〕

五 〔同上〕

イ 〔同上〕

〔(1)〕(8) 同上〕

(9) 自己資本比率告示第二百二十三條第一項の規定により千二

四第一項第一号及び第二号の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳

〔10〕・〔11〕 略

ロ 組合が投資家である場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャーに関する次に掲げる事項

〔1〕・〔2〕 略

(3) 自己資本比率告示第二百二十四条並びに第二百二十四条の

四第一項第一号及び第二号の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳

(4) 〔略〕

〔六〇八 略〕

5 〔略〕

(連結自己資本比率を算出する場合における連結会計年度の開示事項)

第三条 〔略〕

2 〔略〕

3 第一項の定性的な開示事項は、次に掲げる事項とする。

〔一〇六 略〕

七 証券化エクスポージャーに関する次に掲げる事項

イ 〔略〕

百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳

〔10〕・〔11〕 同上

ロ 〔同上〕

〔1〕・〔2〕 同上

(3) 自己資本比率告示第二百二十三条第一項の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳

(4) 〔同上〕

〔六〇八 同上〕

5 〔同上〕

(連結自己資本比率を算出する場合における連結会計年度の開示事項)

第三条 〔同上〕

2 〔同上〕

3 〔同上〕

〔一〇六 同上〕

七 〔同上〕

イ 〔同上〕

ロ 自己資本比率告示第二百二十四条第一項第一号から第四号までに規定する体制の整備及びその運用状況の概要

〔ハ〕リ 略

〔八〕十 略

4 第一項の定量的な開示事項は、次に掲げる事項とする。

〔一〕二 略

三 信用リスク（信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャー及び証券化エクスポージャーを除く。）に関する次に掲げる事項

〔イ〕ホ 略

へ 標準的手法が適用されるエクスポージャーについて、リスク・ウェイトの区分ごとの信用リスク削減手法の効果を勘案した後の残高（格付が付与されている信用供与の割合が信用供与の額全体の一パーセント未満である場合には、区分を要しない。）並びに自己資本比率告示第五十四条第二項第二号、第五百五十三条第二項第二号、第二百二十四条（自己資本比率告示第九十九条及び第百一条において準用する場合に限る。）並びに第二百二十四条の四第一項第一号及び第二号（自己資本比率告示第九十九条及び第百一条において準用する場合に限る。）の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用されるエクスポージャーの額

ロ 自己資本比率告示第二百五条第四項第三号から第六号までに（これらの規定を自己資本比率告示第二百三十条第二項において準用する場合を含む。）に規定する体制の整備及びその運用状況の概要

〔ハ〕リ 同上

〔八〕十 同上

4 〔同上〕

〔一〕二 同上

三 〔同上〕

〔イ〕ホ 同上

へ 標準的手法が適用されるエクスポージャーについて、リスク・ウェイトの区分ごとの信用リスク削減手法の効果を勘案した後の残高（格付が付与されている信用供与の割合が信用供与の額全体の一パーセント未満である場合には、区分を要しない。）並びに自己資本比率告示第五十四条第二項第二号、第五百五十三条第二項第二号及び第二百二十三条第一項（自己資本比率告示第九十九条、第百一条及び第百十条第一項において準用する場合に限る。）の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用されるエクスポージャーの額

〔トノヌ 略〕

〔四・五 略〕

六 証券化エクスポージャーに関する次に掲げる事項

イ 連結グループがオリジネーターである場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャーに関する次に掲げる事項

〔(1)～(8) 略〕

(9) 自己資本比率告示第二百二十四条並びに第二百二十四条の

四第一項第一号及び第二号の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳

〔(10)・(11) 略〕

ロ 連結グループが投資家である場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャーに関する次に掲げる事項

〔(1)・(2) 略〕

(3) 自己資本比率告示第二百二十四条並びに第二百二十四条の

四第一項第一号及び第二号の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳

(4) 〔略〕

〔七〇九 略〕

5

〔略〕

〔トノヌ 同上〕

〔四・五 同上〕

六 〔同上〕

イ 〔同上〕

〔(1)～(8) 同上〕

(9) 自己資本比率告示第二百二十三条第一項の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳

〔(10)・(11) 同上〕

ロ 〔同上〕

〔(1)・(2) 同上〕

(3) 自己資本比率告示第二百二十三条第一項の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳

(4) 〔同上〕

〔七〇九 同上〕

5

〔同上〕

備考 表中の「」の記載は注記である。

○ 漁業協同組合等の自己資本の充実の状況等についての開示事項（平成十九年金融庁・農林水産省告示第五号）
 次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

（注）平成三十年六月八日公表の改正案適用後のもの。

改正後	改正前（注）
<p>（単体自己資本比率を算出する場合における事業年度の開示事項） 第二条 「略」</p> <p>2 「略」</p> <p>3 第一項の定性的な開示事項は、次に掲げる事項とする。 「一〇五 略」</p> <p>六 証券化エクスポージャーに関する次に掲げる事項 イ 「略」 ロ 自己資本比率告示第二百二十四条第一項第一号から第四号までに規定する体制の整備及びその運用状況の概要</p> <p>「ハ〇リ 略」 「七〇九 略」</p> <p>4 第一項の定量的な開示事項は、次に掲げる事項とする。 一 「略」</p>	<p>（単体自己資本比率を算出する場合における事業年度の開示事項） 第二条 「同上」</p> <p>2 「同上」</p> <p>3 「同上」 「一〇五 同上」</p> <p>六 「同上」 イ 「同上」 ロ 自己資本比率告示第二百五条第四項第三号から第六号までに（これらの規定を自己資本比率告示第二百三十条第二項において準用する場合を含む。）に規定する体制の整備及びその運用状況の概要</p> <p>「ハ〇リ 同上」 「七〇九 同上」</p> <p>4 「同上」 一 「同上」</p>

二 信用リスク（信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャー及び証券化エクスポージャーを除く。）に関する次に掲げる事項

〔イ〕ホ 略〕

へ 標準的手法が適用されるエクスポージャーについて、リスク・ウェイトの区分ごとの信用リスク削減手法の効果を勘案した後の残高（格付が付与されている信用供与の割合が信用供与の額全体の一パーセント未満である場合には、区分を要しない。）並びに自己資本比率告示第五十四条第二号、第百五十三条第二項第二号、第二百二十四条（自己資本比率告示第九十九条及び第百一条において準用する場合に限る。）並びに第二百二十四条の四第一項第一号及び第二号（自己資本比率告示第九十九条及び第百一条において準用する場合に限る。）の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用されるエクスポージャーの額

〔ト〕ヌ 略〕

〔三・四 略〕

五 証券化エクスポージャーに関する次に掲げる事項

イ 組合がオリジネーターである場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャーに関する次に掲げる事項

〔(1)〕(8) 略〕

(9) 自己資本比率告示第二百二十四条並びに第二百二十四条の

二 〔同上〕

〔イ〕ホ 同上〕

へ 標準的手法が適用されるエクスポージャーについて、リスク・ウェイトの区分ごとの信用リスク削減手法の効果を勘案した後の残高（格付が付与されている信用供与の割合が信用供与の額全体の一パーセント未満である場合には、区分を要しない。）並びに自己資本比率告示第五十四条第二号、第百五十三条第二項第二号及び第二百二十三条第一項（自己資本比率告示第九十九条、第百一条及び第百十條第一項において準用する場合に限る。）の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用されるエクスポージャーの額

〔ト〕ヌ 同上〕

〔三・四 同上〕

五 〔同上〕

イ 〔同上〕

〔(1)〕(8) 同上〕

(9) 自己資本比率告示第二百二十三條第一項の規定により千二

四第一項第一号及び第二号の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳

〔10〕・〔11〕 略

ロ 組合が投資家である場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャーに関する次に掲げる事項

〔1〕・〔2〕 略

(3) 自己資本比率告示第二百二十四条並びに第二百二十四条の

四第一項第一号及び第二号の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳

(4) 〔略〕

〔六〇八 略〕

5 〔略〕

(項)
(連結自己資本比率を算出する場合における連結会計年度の開示事項)

第三条 〔略〕

2 〔略〕

3 第一項の定性的な開示事項は、次に掲げる事項とする。

〔一〇六 略〕

七 証券化エクスポージャーに関する次に掲げる事項

イ 〔略〕

百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳

〔10〕・〔11〕 同上

ロ 〔同上〕

〔1〕・〔2〕 同上

(3) 自己資本比率告示第二百二十三条第一項の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳

(4) 〔同上〕

〔六〇八 同上〕

5 〔同上〕

(項)
(連結自己資本比率を算出する場合における連結会計年度の開示事項)

第三条 〔同上〕

2 〔同上〕

3 〔同上〕

〔一〇六 同上〕

七 〔同上〕

イ 〔同上〕

ロ 自己資本比率告示第二百二十四条第一項第一号から第四号までに規定する体制の整備及びその運用状況の概要

〔ハ〕リ 略

〔八〕十 略

4 第一項の定量的な開示事項は、次に掲げる事項とする。

〔一〕二 略

三 信用リスク（信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャー及び証券化エクスポージャーを除く。）に関する次に掲げる事項

〔イ〕ホ 略

へ 標準的手法が適用されるエクスポージャーについて、リスク・ウェイトの区分ごとの信用リスク削減手法の効果を勘案した後の残高（格付が付与されている信用供与の割合が信用供与の額全体の一パーセント未満である場合には、区分を要しない。）並びに自己資本比率告示第五十四条第二項第二号、第五百五十三条第二項第二号、第二百二十四条（自己資本比率告示第九十九条及び第百一条において準用する場合に限る。）並びに第二百二十四条の四第一項第一号及び第二号（自己資本比率告示第九十九条及び第百一条において準用する場合に限る。）の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用されるエクスポージャーの額

ロ 自己資本比率告示第二百五条第四項第三号から第六号まで（これらの規定を自己資本比率告示第二百三十条第二項において準用する場合を含む。）に規定する体制の整備及びその運用状況の概要

〔ハ〕リ 同上

〔八〕十 同上

4 〔同上〕

〔一〕二 同上

三 〔同上〕

〔イ〕ホ 同上

へ 標準的手法が適用されるエクスポージャーについて、リスク・ウェイトの区分ごとの信用リスク削減手法の効果を勘案した後の残高（格付が付与されている信用供与の割合が信用供与の額全体の一パーセント未満である場合には、区分を要しない。）並びに自己資本比率告示第五十四条第二項第二号、第五百五十三条第二項第二号及び第二百二十三条第一項（自己資本比率告示第九十九条、第百一条及び第百十條第一項において準用する場合に限る。）の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用されるエクスポージャーの額

〔トノヌ 略〕

〔四・五 略〕

六 証券化エクスポージャーに関する次に掲げる事項

イ 連結グループがオリジネーターである場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャーに関する次に掲げる事項

〔(1)～(8) 略〕

(9) 自己資本比率告示第二百二十四条並びに第二百二十四条の

四第一項第一号及び第二号の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳

〔(10)・(11) 略〕

ロ 連結グループが投資家である場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャーに関する次に掲げる事項

〔(1)・(2) 略〕

(3) 自己資本比率告示第二百二十四条並びに第二百二十四条の四第一項第一号及び第二号の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳

(4) 〔略〕

〔七〇九 略〕

5

〔略〕

〔トノヌ 同上〕

〔四・五 同上〕

六 〔同上〕

イ 〔同上〕

〔(1)～(8) 同上〕

(9) 自己資本比率告示第二百二十三条第一項の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳

〔(10)・(11) 同上〕

ロ 〔同上〕

〔(1)・(2) 同上〕

(3) 自己資本比率告示第二百二十三条第一項の規定により千二百五十パーセントのリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳

(4) 〔同上〕

〔七〇九 同上〕

5

〔同上〕

備考 表中の「」の記載は注記である。

○ 農林中央金庫の自己資本の充実の状況等についての開示事項（平成十九年金融庁・農林水産省告示第六号）

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改め、改正前欄及び改正後欄に対応して掲げるその標記部分に二重傍線を付した規定（以下「対象規定」という。）は、改正前欄に掲げる対象規定を改正後欄に掲げる対象規定として移動し、改正後欄に掲げる対象規定で改正前欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを加える。

（注）平成三十年六月八日、同年六月十八日及び十月十二日公表の改正案適用後のもの。

改正後	改正前（注）
<p>（単体自己資本比率を算出する場合における事業年度の開示事項）</p> <p>第二条 「略」</p> <p>2 「略」</p> <p>3 第一項の定性的な開示事項は、次に掲げる事項（連結自己資本比率を算出する場合にあつては、第十号及び第十一号に掲げる事項に限る。）</p> <p>「一〇五 略」</p> <p>六 証券化取引に係るリスクに関する次に掲げる事項</p> <p>イ 「略」</p> <p>ロ 自己資本比率告示第二百二十五条第一項第一号から第四号まで（自己資本比率告示第二百七十九条の二第二項において準用する場合を含む。）に規定する体制の整備及びその運用状況の概要</p> <p>「ハスト 略」</p>	<p>（単体自己資本比率を算出する場合における事業年度の開示事項）</p> <p>第二条 「同上」</p> <p>2 「同上」</p> <p>3 「同上」</p> <p>「一〇五 同上」</p> <p>六 「同上」</p> <p>イ 「同上」</p> <p>ロ 自己資本比率告示第二百二十六条第四項第三号から第六号まで（自己資本比率告示第二百三十一条第二項及び第二百七十九条の四第一項において準用する場合を含む。）に規定する体制の整備及びその運用状況の概要</p> <p>「ハスト 同上」</p>

〔七〇十二略〕
〔4・5略〕

〔七〇十二同上〕
〔4・5同上〕

(別紙様式第二号)

(第一面)

(単位：百万円)

OV1：リスク・アセットの概要				
国際様式の該当番号		イ	ロ	[略]
		リスク・アセット		
		当期末	前期末	
[略]				
12	信用リスク・アセットの額の算出対象とな っている証券化エクスポージャー			
13	うち、 <u>内部格付手法</u> 運用方式又は内 部評価方式適用分			
14	うち、 <u>外部格付</u> 運用方式適用分			
15	うち、 <u>標準的手法</u> 運用方式適用分 うち、1250%のリスク・ウェイト適 用分			
[略]				

(別紙様式第二号)

(第一面)

(単位：百万円)

OV1：リスク・アセットの概要				
国際様式の該当番号		イ	ロ	[同 左]
		リスク・アセット		
		当期末	前期末	
[同左]				
12	信用リスク・アセットの額の算出対象とな っている証券化エクスポージャー			
13	うち、 <u>内部格付手法</u> における外部格 付運用方式又は内部評価方式適用分			
14	うち、 <u>内部格付</u> 手法における指定関 数方式適用分			
15	うち、 <u>標準的手法</u> 適用分 うち、1250%のリスク・ウェイト適 用分			
[同左]				

(注)
この面において使用する用語は、特段の定めがない限り、自己資本比率告示において使用する用語の例によるものとする。

[a~aa 略]

bb 項番13「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法準拠方式又は内部評価方式適用分」の項イ欄の額は、当期に係る第二十四面及び第二十五面の開示を行う場合、それぞれの面の項番10「内部格付手法準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

cc 項番13「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法準拠方式又は内部評価方式適用分」の項ハ欄の額は、当期に係る第二十四面及び第二十五面の開示を行う場合、それぞれの面の項番14「内部格付手法準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。なお、ロ欄及び三欄の「前期末」が平成三十一年三月三十一日前となる場合には、当該欄は記載することを要しない。

dd 項番14「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、外部格付準拠方式適用分」の項イ欄の額は、当期に係る第二十四面及び第二十五面の開示を行う場合、それぞれの面の項番11「外部格付準拠方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

ee 項番14「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、外部格付準拠方式適用分」の項ハ欄の額は、当期に係る第二十四面及び第二十五面の開示を行う場合、それぞれの面の項番15「外部格付準拠方式が適用される証券化エ

(注)
この面において使用する用語は、特段の定めがない限り、自己資本比率告示において使用する用語の例によるものとする。

[a~aa 同左]

bb 項番13「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式適用分」の項イ欄の額は、当期に係る第二十四面及び第二十五面の開示を行う場合、それぞれの面の項番10「内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

cc 項番13「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式適用分」の項ハ欄の額は、当期に係る第二十四面及び第二十五面の開示を行う場合、それぞれの面の項番14「内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。

dd 項番14「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における指定関数方式適用分」の項イ欄の額は、当期に係る第二十四面及び第二十五面の開示を行う場合、それぞれの面の項番11「内部格付手法における指定関数方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

ee 項番14「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における指定関数方式適用分」の項ハ欄の額は、当期に係る第二十四面及び第二十五面の開示を行う場合、それぞれの面の項番15「内部格付手法における

クスボージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。なお、ロ欄及びニ欄の「前期末」が平成三十一年三月三十一日前となる場合には、当該欄は記載すること
を要しない。

ff 項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスボージャーのうち、標準的手法進捗方式適用分」の項イ欄の額は、当期に係る第二十四面及び第二十五面の開示を行う場合、それぞれの面の項番12「標準的手法進捗方式」により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

gg 項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスボージャーのうち、標準的手法進捗方式適用分」の項ハ欄の額は、当期に係る第二十四面及び第二十五面の開示を行う場合、それぞれの面の項番16「標準的手法進捗方式」が適用される証券化エクスボージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。なお、ロ欄及びニ欄の「前期末」が平成三十一年三月三十一日前となる場合には、当該欄は記載すること
を要しない。

hh 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスボージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項イ欄の額は、当期に係る第二十四面及び第二十五面の開示を行う場合、それぞれの面の項番13「1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスボージャーに係る信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

ii 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスボージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項ハ欄の額は、当期に係る第二十四面及び第二十五面の開示を行う場合、それぞれの面の項番17「1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスボージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。

指定関数方式が適用される証券化エクスボージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。

ff 項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスボージャーのうち、標準的手法適用分」の項イ欄の額は、当期に係る第二十四面及び第二十五面の開示を行う場合、それぞれの面の項番12「標準的手法」により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

gg 項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスボージャーのうち、標準的手法適用分」の項ハ欄の額は、当期に係る第二十四面及び第二十五面の開示を行う場合、それぞれの面の項番16「標準的手法」が適用される証券化エクスボージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。

hh 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスボージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項イ欄の額は、当期に係る第二十四面及び第二十五面の開示を行う場合、それぞれの面の項番13「自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスボージャーに係る信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

ii 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスボージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項ハ欄の額は、当期に係る第二十四面及び第二十五面の開示を行う場合、それぞれの面の項番17「自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスボージャーに係る

11 項番13から項番15までの項のロ欄及びニ欄の「前期末」が平成三十一年三月三十一日前となる場合には、項番15と「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、1250%のリスク・ウエイト適用分」の項との間に「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式適用分」、「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における指定関数方式適用分」及び「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、標準的手法適用分」との名称の項（項番を付さないこと。）を追加すること。この場合においては、農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準等の一部を改正する件（平成三十一年金融庁・農林水産省告示第 号）第●条の規定による改正後の農林中央金庫の自己資本の充実の状況等についての開示事項の規定にかかわらず、追加するこれらの項のロ欄及びニ欄の「前期末」の記載は、なお従前の例によること（なお、イ欄及びハ欄は記載することは要しない。）。

12 [略]
13 [略]
14 [略]
15 [略]
16 [略]
17 [略]
18 [略]

る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。
[加える。]

19 [同左]
20 [同左]
21 [同左]
22 [同左]
23 [同左]
24 [同左]
25 [同左]
26 [同左]

<p>ss [略] 比 [略]</p>	<p>〔(第二面)～(第二十一面) 略〕 (第二十二面)</p>	<p>㊦ [同左] ss [同左]</p>	<p>〔(第二面)～(第二十一面) 同左〕 (第二十二面)</p>
<p>〔表略〕 (注)</p>	<p>この面において使用する用語は、特段の定めがない限り、自己資本比率告示において使用する用語の例によるものとする。</p>	<p>〔同左〕 (注)</p>	<p>この面において使用する用語は、特段の定めがない限り、自己資本比率告示において使用する用語の例によるものとする。</p>
<p>a [略]</p> <p>b イ欄には、自金融機関がオリジネーター（自己資本比率告示第一条第六十二号イに掲げる事項に該当する者をいう。以下この面において同じ。）として関与している資産譲渡型証券化取引に係る証券化エクスポージャーの合計額を記載すること。ただし、自己資本比率告示第二百二十四条第一項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合（証券化取引に係る契約に早期償還条項が含まれている場合には、自己資本比率告示第二百二十四条第三項各号に掲げる条件の全てを満たさないときを含む。）には、当該取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。</p> <p>c ロ欄には、自金融機関がオリジネーターとして関与している合成型証券化取引に係る証券化エクスポージャーの合計額を記載すること。ただし、自己資本比率告示第二百二十四条第二項第六号、第八号、第九号又は第二項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合（証券化取引に係る契約に早期償還条項が含まれている場合には、自己資本比率告示第二百二十四条第三項各号に掲げる条件の全てを満たさないときを含む。）には、当該取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。</p>	<p>a [同左]</p> <p>b イ欄には、自金融機関がオリジネーター（自己資本比率告示第一条第六十二号イに掲げる場合をいう。以下この面において同じ。）として関与している資産譲渡型証券化取引に係る証券化エクスポージャーの合計額を記載すること。ただし、自己資本比率告示第二百二十五条第一項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合、当該取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。</p> <p>c ロ欄には、自金融機関がオリジネーターとして関与している、合成型証券化取引に係る証券化エクスポージャー（信用リスク削減手法（自己資本比率告示第五十七条第一項に規定する信用リスク削減手法をいう。以下この面において同じ。）の効果を勘案した後のものとする。）の合計額を記載すること。ただし、自己資本比率告示第二百二十五条第一項第六号、第七号又は第二項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合、当該取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。</p>		

d 三欄には、自金融機関がスポンサー（自己資本比率告示第一条第六十二号ロに掲げる事項に該当する者をいう。以下この面において同じ。）として関与している資産譲渡型証券化取引に係る証券化エクスポージャー（自金融機関が当該証券化取引について提供している信用補完、流動性補完その他の信用供与に係るエクスポージャーを含む。）の額を記載すること。ただし、自己資本比率告示第二百二十四条第一項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合（証券化取引に係る契約に早期償還条項が含まれている場合には、自己資本比率告示第二百二十四条第三項各号に掲げる条件の全てを満たさないことを含む。）には、当該取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。

e ホ欄には、自金融機関がスポンサーとして関与している合成型証券化取引に係る証券化エクスポージャー（自金融機関が当該証券化取引について提供している信用補完、流動性補完その他の信用供与に係るエクスポージャーを含む。）の合計額を記載すること。ただし、自己資本比率告示第二百二十四条第一項第六号、第八号、第九号又は第二項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合（証券化取引に係る契約に早期償還条項が含まれている場合には、自己資本比率告示第二百二十四条第三項各号に掲げる条件の全てを満たさないことを含む。）には、当該取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。

[f・g 略]

h ロ欄又はホ欄には、合成型証券化取引における、信用リスク削減手法（自己資本比率告示第五十七条第一項に規定する信用リスク削減手法をいう。以下このhにおいて同じ。）の効果を勘案した後のエクスポージャーの額を記載すること。また、自金融機関が信用リスク削減手法としてクレジット・デリバティブによるプロテクションを取得している

d 三欄からヘ欄までには、自金融機関がスポンサー（自己資本比率告示第一条第六十二号ロに掲げる場合をいう。以下この面において同じ。）として関与している資産譲渡型証券化取引に係る証券化エクスポージャー（自金融機関が当該証券化取引について提供している信用補完、流動性補完その他の信用供与に係るエクスポージャーを含む。）の額を記載すること。

e ホ欄には、合成型証券化取引に係る証券化エクスポージャー（信用リスク削減手法の効果を勘案した後のものとする。）の合計額を記載すること。ただし、自己資本比率告示第二百二十五条第一項第六号、第七号又は第二項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合、当該取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。

[f・g 同左]

h 合成型証券化取引において、自金融機関が信用リスク削減手法としてクレジット・デリバティブによるプロテクションを取得している場合、当該プロテクションの効果を勘案した後のエクスポージャーの額をロ欄又はホ欄に計上すること。また、自金融機関が当該プロテクションを売却した場合、当該売却分のプロテクションの額はチ欄に計上する

場合で、当該プロテクションを売却したときには、当該売却分のプロテクションの額は
子欄に計上すること。

【i～】 略】

(第二十三面)

【表略】

a 【略】

b イ欄には、自金融機関がオリジネーター（自己資本比率告示第一六二号イに掲げ
る事項に該当する者をいう。以下この面において同じ。）として関与している資産譲渡
型証券化取引に係る証券化エクスポージャーの合計額を記載すること。ただし、自己資
本比率告示第二二十四条第一項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合（証券
化取引に係る契約に早期償還条項が含まれている場合には、自己資本比率告示第二二
十四条第三項各号に掲げる条件の全てを満たさないときを含む。）には、当該取引につ
いては原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。

○ ロ欄には、自金融機関がオリジネーターとして関与している合成型証券化取引に係る証
券化エクスポージャーの合計額を記載すること。ただし、自己資本比率告示第二十二
四条第二項第六号、第八号、第九号又は第二項各号に掲げる条件のいずれかを満たさな
い場合（証券化取引に係る契約に早期償還条項が含まれている場合には、自己資本比率
告示第二二十四条第三項各号に掲げる条件の全てを満たさないときを含む。）には、
当該取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。

d 三欄には、自金融機関がスポンサー（自己資本比率告示第一六二号ロに掲げる事
項に該当する者をいう。以下この面において同じ。）として関与している資産譲渡型証
券化取引に係る証券化エクスポージャー（自金融機関が当該証券化取引について提供し

こと。

【i～】 同左】

(第二十三面)

【同左】

a 【同左】

b イ欄には、自金融機関がオリジネーター（自己資本比率告示第一六二号イに掲げ
る場合をいう。以下この面において同じ。）として関与している資産譲渡型証券化取引
に係る証券化エクスポージャーの合計額を記載すること。ただし、自己資本比率告示第
二百二十五条第一項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合、当該取引について
は原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。

○ ロ欄には、自金融機関がオリジネーターとして関与している、合成型証券化取引に係る
証券化エクスポージャー（信用リスク削減手法（自己資本比率告示第五十七条第一項に
規定する信用リスク削減手法をいう。以下この面において同じ。）の効果を勘案した後
のものとする。）の合計額を記載すること。ただし、自己資本比率告示第二十五条
第一項第六号、第七号又は第二項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合、当該
取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。

d 三欄から～欄までには、自金融機関がスポンサー（自己資本比率告示第一六二号
ロに掲げる場合をいう。以下この面において同じ。）として関与している資産譲渡型証
券化取引に係る証券化エクスポージャー（自金融機関が当該証券化取引について提供し

ている信用補完、流動性補完その他の信用供与に係るエクスポージャーを含む。)の額を記載すること。ただし、自己資本比率告示第二百二十四条第一項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合(証券化取引に係る契約に早期償還条項が含まれている場合には、自己資本比率告示第二百二十四条第三項各号に掲げる条件の全てを満たさないと きを含む。)には、当該取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上する こと。

e ホ欄には、自金融機関がスポンサーとして関与している合成型証券化取引に係る証券化 エクスプोजャー(自金融機関が当該証券化取引について提供している信用補完、流動 性補完その他の信用供与に係るエクスポージャーを含む。)の合計額を記載すること。 ただし、自己資本比率告示第二百二十四条第一項第六号、第八号、第九号又は第二項各 号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合(証券化取引に係る契約に早期償還条項が 含まれている場合には、自己資本比率告示第二百二十四条第三項各号に掲げる条件の全 てを満たさないと きを含む。)には、当該取引については原資産に係るエクスポージャ ーの額を計上すること。

[f・g 略]

h ロ欄又はホ欄には、合成型証券化取引における、信用リスク削減手法(自己資本比率告 示第五十七条第一項に規定する信用リスク削減手法をいう。以下このhにおいて同じ。) の効果を勘案した後のエクスポージャーの額を記載すること。また、自金融機関が信用 リスク削減手法としてクレジット・デリバティブによるプロテクションを取得している 場合で、当該プロテクションを売却したときには、当該売却分のプロテクションの額は 子欄に計上すること。

[i〜] 略]

ている信用補完、流動性補完その他の信用供与に係るエクスポージャーを含む。)の額 を記載すること。

e ホ欄には、合成型証券化取引に係る証券化エクスポージャー(信用リスク削減手法の効 果を勘案した後のものとする。)の合計額を記載すること。ただし、自己資本比率告示 第二百二十五条第一項第六号、第七号又は第二項各号に掲げる条件のいずれかを満たさ ない場合、当該取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。

[f・g 同左]

h 合成型証券化取引において、自金融機関が信用リスク削減手法としてクレジット・デリ バティブによるプロテクションを取得している場合、当該プロテクションの効果を勘案 した後のエクスポージャーの額をロ欄又はホ欄に計上すること。また、自金融機関が当 該プロテクションを売却した場合、当該売却分のプロテクションの額は子欄に計上す ること。

[i〜] 同左]

(第二十四面)

(単位：百万円)

SBC3：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する 所要自己資本（自金融機関がオリジネーター又はスポンサーである場合）		
項番	イ	【略】
【略】		
エクスポージャーの額（算出方法別）		
6	内部格付手法 準拠方式 又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャー	
7	外部格付 準拠方式 が適用される証券化エクスポージャー	
8	標準的 手法準拠方式 が適用される証券化エクスポージャー	
9	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	
信用リスク・アセットの額（算出方法の別）		
10	内部格付手法 準拠方式 又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット	
11	外部格付 準拠方式 により算出した信用リスク・アセット	

(第二十四面)

(単位：百万円)

SBC3：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する 所要自己資本（自金融機関がオリジネーター又はスポンサーである場合）		
項番	イ	【同左】
【同左】		
エクスポージャーの額（算出方法別）		
6	内部格付手法における外部格付 準拠方式 又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャー	
7	内部格付手法における指定関数方式が適用される証券化エクスポージャー	
8	標準的 手法 が適用される証券化エクスポージャー	
9	自己資本比率告示 第二百二十四条第一項の規定 により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	
信用リスク・アセットの額（算出方法の別）		
10	内部格付手法における外部格付 準拠方式 又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット	
11	内部格付手法における指定関数方式により算出した信用リスク・アセット	

12	標準的手法 <u>準備方式</u> により算出した信用リスク・アセット	
13	<u>1250%</u> のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット	
	所要自己資本の額 (算出方法別)	
14	<u>内部格付手法</u> 準備方式又は <u>内部評価方式</u> が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	
15	<u>外部格付</u> 準備方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	
16	標準的手法準備方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	
17	<u>1250%</u> のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	

(注)

この面において使用する用語は、特段の定めがない限り、自己資本比率告示において使用する用語の例によるものとする。

[a～c 略]

d 「信用リスク・アセットの額 (算出方法別)」の項番10から項番13までの項には、証券化取引の種類に応じ、算出方法別の信用リスク・アセットの額 (自己資本比率告示第二百四十四条に規定するリスク・ウエイトに関する上限を適用する前の額) を記載すること。

12	標準的手法により算出した信用リスク・アセット	
13	自己資本比率告示 <u>第二百二十四条</u> 第一項の規定により <u>1250%</u> のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット	
	所要自己資本の額 (算出方法別)	
14	<u>内部格付</u> 手法における <u>外部格付</u> 準備方式又は <u>内部評価方式</u> が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	
15	<u>内部格付</u> 手法における <u>指定関数方式</u> が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	
16	標準的手法が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	
17	自己資本比率告示 <u>第二百二十四条</u> 第一項の規定により <u>1250%</u> のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	

(注)

この面において使用する用語は、特段の定めがない限り、自己資本比率告示において使用する用語の例によるものとする。

[a～c 同左]

d 「信用リスク・アセットの額 (算出方法別)」の項番10から項番13までの項には、証券化取引の種類に応じ、算出方法別の信用リスク・アセットの額 (自己資本比率告示第二百二十九条第一項 (自己資本比率告示第二百四十七条第一項において準用する場合を含む。)に規定する信用リスク・アセットの額に関する上限を適用する前の額) を記載すること。

「所要自己資本の額（算出方法別）」の項番14から項番17までの項には、証券化取引の種類に応じ、算出方法別の所要自己資本の額（自己資本比率告示第二百四十四条に規定するリスク・ウエイトに関する上限及び自己資本比率告示第二二十五条の二第二項に規定する所要自己資本の額に関する上限を適用した後の額）を記載すること。

『 項番9 「1250%のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポージャー」、項番13 「1250%のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット」及び項番17 「1250%のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項には、そのリスク・ウエイトの算出方式につき内部格付準拠方式、外部格付準拠方式、内部評価手法又は標準的手法準拠方式のいずれも用いることなく1250%のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポージャーに係る計数を記載すること。

『 項番10 「内部格付手法準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十五面の項番10 「内部格付手法準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番13 「信用リスク・アセット」の額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法準拠方式又は内部評価方式適用分の項イ欄の額と一致する。

『 項番11 「外部格付準拠方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十五面の項番11 「外部格付準拠方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番14 「信用リスク・アセット」の額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、外部格付準拠方式適用分の項イ欄の額と一致する。

「所要自己資本の額（算出方法別）」の項番14から項番17までの項には、証券化取引の種類に応じ、算出方法別の所要自己資本の額（自己資本比率告示第二百二十九条第二項（自己資本比率告示第二百四十七条第一項において準用する場合を含む。）に規定する信用リスク・アセットの額に関する上限及び自己資本比率告示第二百三十二条第一項に規定する所要自己資本の額に関する上限を適用した後の額）を記載すること。

[加える。]

『 項番10 「内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十五面の項番10 「内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番13 「信用リスク・アセット」の額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式適用分の項イ欄の額と一致する。

『 項番11 「内部格付手法における指定開数方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十五面の項番11 「内部格付手法における指定開数方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番14 「信用リスク・アセット」の額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における指

Ⓙ 項番12 「標準的手法進捗方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十五面の項番12 「標準的手法進捗方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番15 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、標準的手法進捗方式適用分」の項イ欄の額と一致する。

Ⓚ 項番13 「1250%のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十五面の項番13 「1250%のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、1250%のリスク・ウエイト適用分」の項イ欄の額と一致する。

Ⓛ 項番14 「内部格付手法進捗方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額及び第二十五面の項番14 「内部格付手法進捗方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番13 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法進捗方式又は内部評価方式適用分」の項ハ欄の額と一致する。

Ⓜ 項番15 「外部格付進捗方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額及び第二十五面の項番15 「外部格付進捗方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番14 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、外部格付進捗方式適用分」の項ハ欄の額と一致する。

「定関数方式適用分」の項イ欄の額と一致する。

Ⓙ 項番12 「標準的手法により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十五面の項番12 「標準的手法により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番15 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、標準的手法適用分」の項イ欄の額と一致する。

Ⓚ 項番13 「自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十五面の項番13 「自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、1250%のリスク・ウエイト適用分」の項イ欄の額と一致する。

Ⓛ 項番14 「内部格付手法における外部格付進捗方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額及び第二十五面の項番14 「内部格付手法における外部格付進捗方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番13 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における外部格付進捗方式又は内部評価方式適用分」の項ハ欄の額と一致する。

Ⓜ 項番15 「内部格付手法における指定関数方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額及び第二十五面の項番15 「内部格付手法における指定関数方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番14 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における指定関数方式適用分」の項ハ欄の額と一致する。

㉓ 項番16「標準的手法進捗方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額及び第二十五面の項番16「標準的手法進捗方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、標準的手法進捗方式適用分」の項ハ欄の額と一致する。

㉔ 項番17「1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額及び第二十五面の項番17「1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額の合計額は、第一面の「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項ハ欄の額と一致する。

- ㉕ [略]
- ㉖ [略]

(第二十五面)
(単位：百万円)

SBC4:信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する 所要自己資本（自金融機関が投資家である場合）		
項番	イ	[略]
		合計
[略]		
エクスポージャーの額（算出方法別）		

㉗ 項番16「標準的手法が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額及び第二十五面の項番16「標準的手法が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、標準的手法適用分」の項ハ欄の額と一致する。

㉘ 項番17「自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額及び第二十五面の項番17「自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額の合計額は、第一面の「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項ハ欄の額と一致する。

- ㉙ [同左]
- ㉚ [同左]

(第二十五面)
(単位：百万円)

SBC4:信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する 所要自己資本（自金融機関が投資家である場合）		
項番	イ	[同左]
		合計
[同左]		
エクスポージャーの額（算出方法別）		

6	内部格付手法 <u>準備方式</u> 又は内部評価方式が適用される証券化エクスポートジャー	
7	外部格付 <u>準備方式</u> が適用される証券化エクスポートジャー	
8	標準的手法 <u>準備方式</u> が適用される証券化エクスポートジャー	
9	<u>1250%</u> のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポートジャー	
	信用リスク・アセットの額 (算出方法の別)	
10	内部格付手法 <u>準備方式</u> 又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット	
11	外部格付 <u>準備方式</u> により算出した信用リスク・アセット	
12	標準的手法 <u>準備方式</u> により算出した信用リスク・アセット	
13	<u>1250%</u> のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポートジャーに係る信用リスク・アセット	
	所要自己資本の額 (算出方法別)	
14	内部格付手法 <u>準備方式</u> 又は内部評価方式が適用される証券化エクスポートジャーに係る所要自己資本	
15	外部格付 <u>準備方式</u> が適用される証券化エクスポートジャーに係る所要自己資本	

6	内部格付手法における外部格付 <u>準備方式</u> 又は内部評価方式が適用される証券化エクスポートジャー	
7	内部格付手法における <u>指定関数方式</u> が適用される証券化エクスポートジャー	
8	標準的手法が適用される証券化エクスポートジャー	
9	自己資本比率告示第二百二十四条 <u>第一項の規定</u> により <u>1250%</u> のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポートジャー	
	信用リスク・アセットの額 (算出方法の別)	
10	内部格付手法における外部格付 <u>準備方式</u> 又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット	
11	内部格付手法における <u>指定関数方式</u> により算出した信用リスク・アセット	
12	標準的手法により算出した信用リスク・アセット	
13	自己資本比率告示第二百二十四条 <u>第一項の規定</u> により <u>1250%</u> のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポートジャーに係る信用リスク・アセット	
	所要自己資本の額 (算出方法別)	
14	内部格付手法における外部格付 <u>準備方式</u> 又は内部評価方式が適用される証券化エクスポートジャーに係る所要自己資本	
15	内部格付手法における <u>指定関数方式</u> が適用される証券化エクスポートジャーに係る所要自己資本	

	係る所要自己資本		
16	<u>標準的手法</u> が適用される証券化エクスプोजチャーに係る所要自己資本		
17	<u>1250%</u> のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスプोजチャーに係る所要自己資本		

(注)

この面において使用する用語は、特段の定めがない限り、自己資本比率告示において使用する用語の例によるものとする。

[a～c 略]

d 「信用リスク・アセットの額 (算出方法別)」の項番10から項番13までの項には、証券化取引の種類に並び、算出方法別の信用リスク・アセットの額 (自己資本比率告示第二百四十四条に規定するリスク・ウェイトに関する上限を適用する前の額) を記載すること。

e 「所要自己資本の額 (算出方法別)」の項番14から項番17までの項には、証券化取引の種類に並び、算出方法別の所要自己資本の額 (自己資本比率告示第二百四十四条に規定するリスク・ウェイトに関する上限及び自己資本比率告示第二百二十五条の二第一項に規定する所要自己資本の額に関する上限を適用した後の額) を記載すること。

f 項番9 「1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスプोजチャー」、項番13 「1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスプोजチャーに係る信用リスク・ア

	エクスプोजチャーに係る所要自己資本		
16	<u>標準的手法</u> が適用される証券化エクスプोजチャーに係る所要自己資本		
17	自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により <u>1250%</u> のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスプोजチャーに係る所要自己資本		

(注)

この面において使用する用語は、特段の定めがない限り、自己資本比率告示において使用する用語の例によるものとする。

[a～c 同左]

d 「信用リスク・アセットの額 (算出方法別)」の項番10から項番13までの項には、証券化取引の種類に並び、算出方法別の信用リスク・アセットの額 (自己資本比率告示第二百二十九条第一項 (自己資本比率告示第二百四十七条第一項において準用する場合を含む。)) に規定する信用リスク・アセットの額に関する上限を適用する前の額) を記載すること。

e 「所要自己資本の額 (算出方法別)」の項番14から項番17までの項には、証券化取引の種類に並び、算出方法別の所要自己資本の額 (自己資本比率告示第二百二十九条第一項 (自己資本比率告示第二百四十七条第一項において準用する場合を含む。)) に規定する信用リスク・アセットの額に関する上限及び自己資本比率告示第二百三十二条第一項に規定する所要自己資本の額に関する上限を適用した後の額) を記載すること。

[加える。]

セット」及び項番17「1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項には、そのリスク・ウェイトの算出方式につき内部格付準拠方式、外部格付準拠方式、内部評価手法又は標準的手法準拠方式のいずれも用いることなく1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る計数を記載すること。

g 項番10「内部格付手法準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十四面の項番10「内部格付手法準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番13「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法準拠方式又は内部評価方式適用分」の項イ欄の額と一致する。

h 項番11「外部格付準拠方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十四面の項番11「外部格付準拠方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番14「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、外部格付準拠方式適用分」の項イ欄の額と一致する。

i 項番12「標準的手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十四面の項番12「標準的手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、標準的手法準拠方式適用分」の項イ欄の額と一致する。

j 項番13「1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リ

f 項番10「内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十四面の項番10「内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番13「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式適用分」の項イ欄の額と一致する。

g 項番11「内部格付手法における指定関数方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十四面の項番11「内部格付手法における指定関数方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番14「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における指定関数方式適用分」の項イ欄の額と一致する。

h 項番12「標準的手法により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十四面の項番12「標準的手法により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、標準的手法適用分」の項イ欄の額と一致する。

i 項番13「自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウェイト

法準拠方式適用分」の項へ欄の額と一致する。

㊦ 項番17「1250%のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポートジャーに係る所要自己資本」の項へ欄の額及び第二十四面の項番17「1250%のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポートジャーに係る所要自己資本」の項へ欄の額の合計額は、第一面の「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポートジャーのうち、1250%のリスク・ウエイト適用分」の項へ欄の額と一致する。

㊧ [略]

㊨ [略]

【(第二十六面)～(第三十二面) 略】

欄の額と一致する。

㊦ 項番17「自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポートジャーに係る所要自己資本」の項へ欄の額及び第二十四面の項番17「自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポートジャーに係る所要自己資本」の項へ欄の額の合計額は、第一面の「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポートジャーのうち、1250%のリスク・ウエイト適用分」の項へ欄の額と一致する。

㊧ [同左]

㊨ [同左]

【(第二十六面)～(第三十二面) 同左】

(別紙様式第五号)

(第一面)

(単位：百万円)

OV1：リスク・アセットの概要						
国際様式の該当番号	信用リスク・アセットの額の算出対象とな っている証券化エクスポージャー	イ		ロ		
		リスク・アセット		リスク・アセット		
		当中間 期末	前中間 期末	当中間 期末	前中間 期末	
[略]						
12	信用リスク・アセットの額の算出対象とな っている証券化エクスポージャー	うち、 <u>内部格付手法</u> 適用分又は内 部評価方式適用分				[略]
13		うち、 <u>外部格付</u> 適用分				[略]
14		うち、 <u>標準的手法</u> 適用分				[略]
15		うち、 <u>標準的手法</u> 適用分				[略]
		うち、 <u>1250%のリスク・ウェイト</u> 適 用分				[略]
[略]						

(別紙様式第五号)

(第一面)

(単位：百万円)

OV1：リスク・アセットの概要						
国際様式の該当番号	信用リスク・アセットの額の算出対象とな っている証券化エクスポージャー	イ		ロ		
		リスク・アセット		リスク・アセット		
		当中間 期末	前中間 期末	当中間 期末	前中間 期末	
[同左]						
12	信用リスク・アセットの額の算出対象とな っている証券化エクスポージャー	うち、 <u>内部格付手法</u> における <u>外部格 付</u> 適用分又は内部評価方式適用分				[同 左]
13		うち、 <u>内部格付</u> における指定関 数方式適用分				[同 左]
14		うち、 <u>標準的手法</u> 適用分				[同 左]
15		うち、 <u>標準的手法</u> 適用分				[同 左]
		うち、 <u>1250%のリスク・ウェイト</u> 適 用分				[同 左]
[同左]						

(注)
この面において使用する用語は、特段の定めがない限り、自己資本比率告示において使用する用語の例によるものとする。

[a~aa 略]

bb 項番13「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法準拠方式又は内部評価方式適用分」の項イ欄の額は、当中間期に係る第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番10「内部格付手法準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

cc 項番13「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法準拠方式又は内部評価方式適用分」の項ハ欄の額は、当中間期に係る第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番14「内部格付手法準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。なお、ロ欄及び三欄の「前中間期末」が平成三十一年三月三十一日前となる場合には、当該欄に記載することを要しない。

dd 項番14「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、外部格付準拠方式適用分」の項イ欄の額は、当中間期に係る第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番11「外部格付準拠方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

ee 項番14「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、外部格付準拠方式適用分」の項ハ欄の額は、当中間期に係る第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番15「外部格付準拠方式が適用される証券化エ

(注)
この面において使用する用語は、特段の定めがない限り、自己資本比率告示において使用する用語の例によるものとする。

[a~aa 同左]

bb 項番13「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式適用分」の項イ欄の額は、当中間期に係る第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番10「内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

cc 項番13「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式適用分」の項ハ欄の額は、当中間期に係る第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番14「内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。

dd 項番14「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における指定関数方式適用分」の項イ欄の額は、当中間期に係る第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番11「内部格付手法における指定関数方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

ee 項番14「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における指定関数方式適用分」の項ハ欄の額は、当中間期に係る第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番15「内部格付手法における

クスボージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。なお、ロ欄及びニ欄の「前中間期末」が平成三十一年三月三十一日前となる場合には、当該欄は記載することを要しない。

ff 項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスボージャーのうち、標準的手法進捗方式適用分」の項イ欄の額は、当中間期に係る第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番12「標準的手法進捗方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

gg 項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスボージャーのうち、標準的手法進捗方式適用分」の項ハ欄の額は、当中間期に係る第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番16「標準的手法進捗方式が適用される証券化エクスボージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。なお、ロ欄及びニ欄の「前中間期末」が平成三十一年三月三十一日前となる場合には、当該欄は記載することを要しない。

hh 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスボージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項イ欄の額は、当中間期に係る第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番13「1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスボージャーに係る信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

ii 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスボージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項ハ欄の額は、当中間期に係る第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番17「1250%のリスク・ウェイトが適用さ

指定関数方式が適用される証券化エクスボージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。

ff 項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスボージャーのうち、標準的手法適用分」の項イ欄の額は、当中間期に係る第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番12「標準的手法により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

gg 項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスボージャーのうち、標準的手法適用分」の項ハ欄の額は、当中間期に係る第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番16「標準的手法が適用される証券化エクスボージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。

hh 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスボージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項イ欄の額は、当中間期に係る第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番13「自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスボージャーに係る信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

ii 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスボージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項ハ欄の額は、当中間期に係る第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番17「自己資本比率告示第二百二十四条第

れる証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。

- 11 項番13から項番15までの項のロ欄及びニ欄の「前中間期末」が平成三十一年三月三十一日前となる場合には、項番15と「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項との間に「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式適用分」、「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における指定関数方式適用分」及び「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、標準的手法適用分」との名称の項（項番を付さないこと。）を追加すること。この場合においては、農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準等の一部を改正する件（平成三十一年金融庁・農林水産省告示第 号）第●条の規定による改正後の農林中央金庫の自己資本の充実の状況等についての開示事項の規定にかかわらず、追加するこれらの項のロ欄及びニ欄の「前中間期末」の記載は、なお従前の例によること（なお、イ欄及びヘ欄は記載することは要しない。）。

kk [略]
ll [略]
mm [略]
nn [略]
oo [略]
pp [略]
qq [略]

一項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。

[加える。]

11 [同左]
kk [同左]
ll [同左]
mm [同左]
nn [同左]
oo [同左]
pp [同左]

<p>㍿ [略] ㍿ [略] ㍿ [略]</p>	<p>〔(第二面)～(第十六面) 略〕 (第十七面)</p>	<p>㍿ [同左] ㍿ [同左] ㍿ [同左]</p>	<p>〔(第二面)～(第十六面) 同左〕 (第十七面)</p>
<p>〔表略〕 (注) この面において使用する用語は、特段の定めがない限り、自己資本比率告示において使用する用語の例によるものとする。</p>	<p>a [略]</p>	<p>〔同左〕 (注)</p>	<p>この面において使用する用語は、特段の定めがない限り、自己資本比率告示において使用する用語の例によるものとする。</p>
<p>b イ欄には、<u>自金融機関がオリジネーター（自己資本比率告示第一條第六十二号イに掲げる事項に該当する者）をいう。</u>以下この面において同じ。）として関与している資産譲渡型証券化取引に係る証券化エクスプोजャーの合計額を記載すること。ただし、自己資本比率告示<u>第二二十四条第一項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合</u>（証券化取引に係る契約に<u>早期償還条項が含まれている場合には、自己資本比率告示第二十四条第三項各号に掲げる条件の全てを満たさないときを含む。</u>）には、当該取引については原資産に係るエクスプोजャーの額を計上すること。</p>	<p>c ロ欄には、<u>自金融機関がオリジネーターとして関与している合成型証券化取引に係る証券化エクスプोजャーの合計額を記載すること。</u>ただし、自己資本比率告示<u>第二二十四条第二項第六号、第八号、第九号又は第二項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合</u>（証券化取引に係る契約に<u>早期償還条項が含まれている場合には、自己資本比率告示第二二十四条第三項各号に掲げる条件の全てを満たさないときを含む。</u>）には、</p>	<p>b イ欄には、<u>自金融機関がオリジネーター（自己資本比率告示第一條第六十二号イに掲げる場合をいう。</u>以下この面において同じ。）として関与している資産譲渡型証券化取引に係る証券化エクスプोजャーの合計額を記載すること。ただし、自己資本比率告示<u>第二二十五条第一項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合</u>、当該取引については原資産に係るエクスプोजャーの額を計上すること。</p>	<p>c ロ欄には、<u>自金融機関がオリジネーターとして関与している、合成型証券化取引に係る証券化エクスプोजャー（信用リスク削減手法（自己資本比率告示第五十七条第一項に規定する信用リスク削減手法をいう。以下この面において同じ。）の効果を勘案した後のものとする。）の合計額を記載すること。</u>ただし、自己資本比率告示<u>第二二十五条第一項第六号、第七号又は第二項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合</u>、当該</p>

当該取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。

d 三欄には、自金融機関がスポンサー（自己資本比率告示第一条第六十二号ロに掲げる事項に該当する者をいう。以下この面において同じ。）として関与している資産譲渡型証券化取引に係る証券化エクスポージャー（自金融機関が当該証券化取引について提供している信用補完、流動性補完その他の信用供与に係るエクスポージャーを含む。）の額を記載すること。ただし、自己資本比率告示第二百二十四条第一項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合（証券化取引に係る契約に早期償還条項が含まれている場合には、自己資本比率告示第二百二十四条第三項各号に掲げる条件の全てを満たさないときを含む。）には、当該取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。

e ホ欄には、自金融機関がスポンサーとして関与している合成型証券化取引に係る証券化エクスポージャー（自金融機関が当該証券化取引について提供している信用補完、流動性補完その他の信用供与に係るエクスポージャーを含む。）の合計額を記載すること。ただし、自己資本比率告示第二百二十四条第一項第六号、第八号、第九号又は第二項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合（証券化取引に係る契約に早期償還条項が含まれている場合には、自己資本比率告示第二百二十四条第三項各号に掲げる条件の全てを満たさないときを含む。）には、当該取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。

[f・g 略]

h ロ欄又はホ欄には、合成型証券化取引における、信用リスク削減手法（自己資本比率告示第五十七条第一項に規定する信用リスク削減手法をいう。以下このhにおいて同じ。）の効果を勘案した後のエクスポージャーの額を記載すること。また、自金融機関が信用

取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。

d 三欄からベ欄までには、自金融機関がスポンサー（自己資本比率告示第一条第六十二号ロに掲げる場合をいう。以下この面において同じ。）として関与している資産譲渡型証券化取引に係る証券化エクスポージャー（自金融機関が当該証券化取引について提供している信用補完、流動性補完その他の信用供与に係るエクスポージャーを含む。）の額を記載すること。

e ホ欄には、合成型証券化取引に係る証券化エクスポージャー（信用リスク削減手法の効果を勘案した後のものとする。）の合計額を記載すること。ただし、自己資本比率告示第二百二十五条第一項第六号、第七号又は第二項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合、当該取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。

[f・g 同左]

h 合成型証券化取引において、自金融機関が信用リスク削減手法としてクレジット・デリバティブによるプロテクションを取得している場合、当該プロテクションの効果を勘案した後のエクスポージャーの額をロ欄又はホ欄に計上すること。また、自金融機関が当

リスク削減手法としてクレジット・デリバティブによるプロテクションを取得している場合で、当該プロテクションを売却したときには、当該売却分のプロテクションの額は手欄に計上すること。

【i～】 略】

(第十八面)

【表略】

a 【略】

b イ欄には、自金融機関がオリジネーター（自己資本比率告示第一条第六十二号イに掲げる事項に該当する者をいう。以下この面において同じ。）として関与している資産譲渡型証券化取引に係る証券化エクスポージャーの合計額を記載すること。ただし、自己資本比率告示第二二十四条第一項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合（証券化取引に係る契約に早期償還条項が含まれている場合には、自己資本比率告示第二二十四条第三項各号に掲げる条件の全てを満たさないときを含む。）には、当該取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。

○ ロ欄には、自金融機関がオリジネーターとして関与している合成型証券化取引に係る証券化エクスポージャーの合計額を記載すること。ただし、自己資本比率告示第二二十四条第一項第六号、第八号、第九号又は第二項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合（証券化取引に係る契約に早期償還条項が含まれている場合には、自己資本比率告示第二二十四条第三項各号に掲げる条件の全てを満たさないときを含む。）には、当該取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。

d 三欄には、自金融機関がスポンサー（自己資本比率告示第一条第六十二号ロに掲げる場合をいう。以下この面において同じ。）として関与している資産譲渡型証券化取引に係る

該プロテクションを売却した場合、当該売却分のプロテクションの額は手欄に計上すること。

【i～】 同左】

(第十八面)

【同左】

a 【同左】

b イ欄には、自金融機関がオリジネーター（自己資本比率告示第一条第六十二号イに掲げる場合をいう。以下この面において同じ。）として関与している資産譲渡型証券化取引に係る証券化エクスポージャーの合計額を記載すること。ただし、自己資本比率告示第二二十五条第一項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合、当該取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。

○ ロ欄には、自金融機関がオリジネーターとして関与している、合成型証券化取引に係る証券化エクスポージャー（信用リスク削減手法（自己資本比率告示第五十七条第一項に規定する信用リスク削減手法をいう。以下この面において同じ。）の効果を勘案した後のものとする。）の合計額を記載すること。ただし、自己資本比率告示第二二十五条第一項第六号、第七号又は第二項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合、当該取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。

d 三欄からへ欄までには、自金融機関がスポンサー（自己資本比率告示第一条第六十二号ロに掲げる場合をいう。以下この面において同じ。）として関与している資産譲渡型証

る証券化エクスポージャー（自金融機関が当該証券化取引について提供している信用補充、流動性補充その他の信用供与に係るエクスポージャーを含む。）の額を記載すること。ただし、自己資本比率告示第二百二十四条第一項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合（証券化取引に係る契約に早期償還条項が含まれている場合には、自己資本比率告示第二百二十四条第三項各号に掲げる条件の全てを満たさないとを含む。）には、当該取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。

e ホ欄には、自金融機関がスポンサーとして関与している合成型証券化取引に係る証券化エクスポージャー（自金融機関が当該証券化取引について提供している信用補充、流動性補充その他の信用供与に係るエクスポージャーを含む。）の合計額を記載すること。ただし、自己資本比率告示第二百二十四条第一項第六号、第八号、第九号又は第二項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合（証券化取引に係る契約に早期償還条項が含まれている場合には、自己資本比率告示第二百二十四条第三項各号に掲げる条件の全てを満たさないとを含む。）には、当該取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。

[f・g 略]

h ロ欄又はホ欄には、合成型証券化取引における、信用リスク削減手法（自己資本比率告示第五十七条第一項に規定する信用リスク削減手法をいう。以下このhにおいて同じ。）の効果を勘案した後のエクスポージャーの額を記載すること。また、自金融機関が信用リスク削減手法としてクレジット・デリバティブによるプロテクションを取得している場合で、当該プロテクションを売却したときには、当該売却分のプロテクションの額はチ欄に計上すること。

[i～] 略]

証券化取引に係る証券化エクスポージャー（自金融機関が当該証券化取引について提供している信用補充、流動性補充その他の信用供与に係るエクスポージャーを含む。）の額を記載すること。

e ホ欄には、合成型証券化取引に係る証券化エクスポージャー（信用リスク削減手法の効果を勘案した後のものとする。）の合計額を記載すること。ただし、自己資本比率告示第二百二十五条第一項第六号、第七号又は第二項各号に掲げる条件のいずれかを満たさない場合、当該取引については原資産に係るエクスポージャーの額を計上すること。

[f・g 同左]

h 合成型証券化取引において、自金融機関が信用リスク削減手法としてクレジット・デリバティブによるプロテクションを取得している場合、当該プロテクションの効果を勘案した後のエクスポージャーの額をロ欄又はホ欄に計上すること。また、自金融機関が当該プロテクションを売却した場合、当該売却分のプロテクションの額はチ欄に計上すること。

[i～] 同左]

(第十九面)

(単位：百万円)

SBC3：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する 所要自己資本（自金融機関がオリジネーター又はスポンサーである場合）		イ		【略】
項番	[略]	合計]
		【略】		
	エクスポージャーの額（算出方法別）			
6	内部格付手法準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャー			
7	外部格付準拠方式が適用される証券化エクスポージャー			
8	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー			
9	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー			
信用リスク・アセットの額（算出方法の別）				
10	内部格付手法準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット			
11	外部格付準拠方式により算出した信用リスク・アセット			
12	標準的手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット			

(第十九面)

(単位：百万円)

SBC3：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する 所要自己資本（自金融機関がオリジネーター又はスポンサーである場合）		イ		【同左】
項番	[同左]	合計		左]
		【同左】		
	エクスポージャーの額（算出方法別）			
6	内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャー			
7	内部格付手法における指定関数方式が適用される証券化エクスポージャー			
8	標準的手法が適用される証券化エクスポージャー			
9	自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー			
信用リスク・アセットの額（算出方法の別）				
10	内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット			
11	内部格付手法における指定関数方式により算出した信用リスク・アセット			
12	標準的手法により算出した信用リスク・アセット			

13	<u>1250%</u> のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット		
	所要自己資本の額 (算出方法別)		
14	<u>内部格付手法</u> <u>準拠方式</u> 又は <u>内部評価方式</u> が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本		
15	<u>外部格付準拠方式</u> が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本		
16	<u>標準的手法</u> <u>準拠方式</u> が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本		
17	<u>1250%</u> のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本		

(注)

この面において使用する用語は、特段の定めがない限り、自己資本比率告示において使用する用語の例によるものとする。

[a～c 略]

d 「信用リスク・アセットの額 (算出方法別)」の項番10から項番13までの項には、証券化取引の種類に応じ、算出方法別の信用リスク・アセットの額 (自己資本比率告示第二百四十四条に規定するリスク・ウェイトに関する上限を適用する前の額) を記載すること。

13	自己資本比率告示 <u>第二百二十四条第一項</u> の規定により <u>1250%</u> のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット		
	所要自己資本の額 (算出方法別)		
14	<u>内部格付手法</u> における <u>外部格付準拠方式</u> 又は <u>内部評価方式</u> が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本		
15	<u>内部格付手法</u> における <u>指定開数方式</u> が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本		
16	<u>標準的手法</u> が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本		
17	自己資本比率告示 <u>第二百二十四条第一項</u> の規定により <u>1250%</u> のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本		

(注)

この面において使用する用語は、特段の定めがない限り、自己資本比率告示において使用する用語の例によるものとする。

[a～c 同左]

d 「信用リスク・アセットの額 (算出方法別)」の項番10から項番13までの項には、証券化取引の種類に応じ、算出方法別の信用リスク・アセットの額 (自己資本比率告示第二百二十九条第一項 (自己資本比率告示第二百四十七条第一項において準用する場合を含む。)に規定する信用リスク・アセットの額に関する上限を適用する前の額) を記載すること。

。 「所要自己資本の額（算出方法別）」の項番14から項番17までの項には、証券化取引の種類に応じ、算出方法別の所要自己資本の額（自己資本比率告示第二百四十四条に規定するリスク・ウェイトに関する上限及び自己資本比率告示第二百二十五条の二第一項に規定する所要自己資本の額に関する上限を適用した後の額）を記載すること。

Ⓙ 項番9 「1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー」、項番13 「1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット」及び項番17 「1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項には、そのリスク・ウェイトの算出方式につき内部格付準拠方式、外部格付準拠方式、内部評価手法又は標準的手法準拠方式のいずれも用いることなく1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る計数を記載すること。

Ⓚ 項番10 「内部格付手法準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十面の項番10 「内部格付手法準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番13 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法準拠方式又は内部評価方式適用分」の項イ欄の額と一致する。

Ⓛ 項番11 「外部格付準拠方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十面の項番11 「外部格付準拠方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番14 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、外部格付準拠方式適用分」の項イ欄の額と一致する。

。 「所要自己資本の額（算出方法別）」の項番14から項番17までの項には、証券化取引の種類に応じ、算出方法別の所要自己資本の額（自己資本比率告示第二百二十九条第一項（自己資本比率告示第二百四十七条第一項において準用する場合を含む。）に規定する信用リスク・アセットの額に関する上限及び自己資本比率告示第二百三十二条第一項に規定する所要自己資本の額に関する上限を適用した後の額）を記載すること。

[加える。]

Ⓙ 項番10 「内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十面の項番10 「内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番13 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式適用分」の項イ欄の額と一致する。

Ⓚ 項番11 「内部格付手法における指定開放方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十面の項番11 「内部格付手法における指定開放方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番14 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法におけ

Ⓙ 項番12 「標準的手法進捗方式」により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十面の項番12 「標準的手法進捗方式」により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番15 「信用リスク・アセット」の額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、標準的手法進捗方式適用分」の項イ欄の額と一致する。

Ⓚ 項番13 「1250%のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十面の項番13 「1250%のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の「信用リスク・アセット」の額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、1250%のリスク・ウエイト適用分」の項イ欄の額と一致する。

Ⓛ 項番14 「内部格付手法進捗方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額及び第二十面の項番14 「内部格付手法進捗方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番13 「信用リスク・アセット」の額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法進捗方式又は内部評価方式適用分」の項ハ欄の額と一致する。

Ⓜ 項番15 「外部格付進捗方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額及び第二十面の項番15 「外部格付進捗方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番14 「信用リスク・

る指定関数方式適用分」の項イ欄の額と一致する。

Ⓙ 項番12 「標準的手法により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十面の項番12 「標準的手法により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番15 「信用リスク・アセット」の額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、標準的手法適用分」の項イ欄の額と一致する。

Ⓚ 項番13 「自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第二十面の項番13 「自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の「信用リスク・アセット」の額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、1250%のリスク・ウエイト適用分」の項イ欄の額と一致する。

Ⓛ 項番14 「内部格付手法における外部格付進捗方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額及び第二十面の項番14 「内部格付手法における外部格付進捗方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番13 「信用リスク・アセット」の額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における外部格付進捗方式又は内部評価方式適用分」の項ハ欄の額と一致する。

Ⓜ 項番15 「内部格付手法における指定関数方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額及び第二十面の項番15 「内部格付手法における指定関数方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額の合計額は、

アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、外部格付連地方式適用分の項へ欄の額と一致する。

Ⓜ 項番16「標準的手法連地方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項へ欄の額及び第二十面の項番16「標準的手法連地方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項へ欄の額の合計額は、第一面の項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、標準的手法連地方式適用分」の項へ欄の額と一致する。

Ⓝ 項番17「1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項へ欄の額及び第二十面の項番17「1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項へ欄の額の合計額は、第一面の「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項へ欄の額と一致する。

Ⓞ [略]

Ⓟ [略]

(第二十面)

(単位：百万円)

SBC4:信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する

所要自己資本（自金融機関が投資家である場合）

は、第一面の項番14「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における指定関数方式適用分」の項へ欄の額と一致する。

Ⓜ 項番16「標準的手法が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項へ欄の額及び第二十面の項番16「標準的手法が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項へ欄の額の合計額は、第一面の項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、標準的手法適用分」の項へ欄の額と一致する。

Ⓝ 項番17「自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項へ欄の額及び第二十面の項番17「自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項へ欄の額の合計額は、第一面の「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項へ欄の額と一致する。

Ⓞ [同左]

Ⓟ [同左]

(第二十面)

(単位：百万円)

SBC4:信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する

所要自己資本（自金融機関が投資家である場合）

項番	イ	合計	【略】
【略】			
	エクスポートジャーの額 (算出方法別)		
6	内部格付手法準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポートジャー		
7	外部格付準拠方式が適用される証券化エクスポートジャー		
8	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポートジャー		
9	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポートジャー		
	信用リスク・アセットの額 (算出方法の別)		
10	内部格付手法準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット		
11	外部格付準拠方式により算出した信用リスク・アセット		
12	標準的手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット		
13	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポートジャーに係る信用リスク・アセット		

項番	イ	合計	【同左】
【同左】			
	エクスポートジャーの額 (算出方法別)		
6	内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポートジャー		
7	内部格付手法における指定関数方式が適用される証券化エクスポートジャー		
8	標準的手法が適用される証券化エクスポートジャー		
9	自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポートジャー		
	信用リスク・アセットの額 (算出方法の別)		
10	内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット		
11	内部格付手法における指定関数方式により算出した信用リスク・アセット		
12	標準的手法により算出した信用リスク・アセット		
13	自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポートジャーに係る信用リスク・アセット		

	所要自己資本の額 (算出方法別)		
14	<u>内部格付手法準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本</u>		
15	<u>外部格付準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本</u>		
16	<u>標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本</u>		
17	<u>1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本</u>		

(注)

この面において使用する用語は、特段の定めがない限り、自己資本比率告示において使用する用語の例によるものとする。

[a～c 略]

d 「信用リスク・アセットの額 (算出方法別)」の項番10から項番13までの項には、証券化取引の種類に応じ、算出方法別の信用リスク・アセットの額 (自己資本比率告示第二百四十四条に規定するリスク・ウェイトに関する上限を適用する前の額) を記載すること。

e 「所要自己資本の額 (算出方法別)」の項番14から項番17までの項には、証券化取引の種類に応じ、算出方法別の所要自己資本の額 (自己資本比率告示第二百四十四条に規定するリスク・ウェイトに関する上限及び自己資本比率告示第二百二十五条の二第一項に

	所要自己資本の額 (算出方法別)		
14	<u>内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本</u>		
15	<u>内部格付手法における指定関数方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本</u>		
16	<u>標準的手法が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本</u>		
17	<u>自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本</u>		

(注)

この面において使用する用語は、特段の定めがない限り、自己資本比率告示において使用する用語の例によるものとする。

[a～c 同左]

d 「信用リスク・アセットの額 (算出方法別)」の項番10から項番13までの項には、証券化取引の種類に応じ、算出方法別の信用リスク・アセットの額 (自己資本比率告示第二百二十九条第一項 (自己資本比率告示第二百四十七条第一項において準用する場合を含む。)) に規定する信用リスク・アセットの額に関する上限を適用する前の額) を記載すること。

e 「所要自己資本の額 (算出方法別)」の項番14から項番17までの項には、証券化取引の種類に応じ、算出方法別の所要自己資本の額 (自己資本比率告示第二百二十九条第一項 (自己資本比率告示第二百四十七条第一項において準用する場合を含む。)) に規定する

規定する所要自己資本の額に関する上限を適用した後の額) を記載すること。

Ⓔ 項番9 「1250%のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポージャー」、項番13 「1250%のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット」及び項番17 「1250%のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項には、そのリスク・ウエイトの算出方式につき内部格付準拠方式、外部格付準拠方式、内部評価手法又は標準的手法準拠方式のいずれも用いることなく1250%のリスク・ウエイトが適用される証券化エクスポージャーに係る計数を記載すること。

Ⓕ 項番10 「内部格付手法準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第十九面の項番10 「内部格付手法準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番13 「信用リスク・アセット」の額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法準拠方式又は内部評価方式適用分」の項イ欄の額と一致する。

Ⓖ 項番11 「外部格付準拠方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第十九面の項番11 「外部格付準拠方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番14 「信用リスク・アセット」の額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、外部格付準拠方式適用分」の項イ欄の額と一致する。

Ⓗ 項番12 「標準的手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第十九面の項番12 「標準的手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ

信用リスク・アセットの額に関する上限及び自己資本比率告示第二百三十二条第一項に規定する所要自己資本の額に関する上限を適用した後の額) を記載すること。

[加える。]

Ⓔ 項番10 「内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第十九面の項番10 「内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番13 「信用リスク・アセット」の額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式適用分」の項イ欄の額と一致する。

Ⓖ 項番11 「内部格付手法における指定関数方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第十九面の項番11 「内部格付手法における指定関数方式により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番14 「信用リスク・アセット」の額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における指定関数方式適用分」の項イ欄の額と一致する。

Ⓗ 項番12 「標準的手法により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額及び第十九面の項番12 「標準的手法により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の額の合計額は

欄の額の合計額は、第一面の項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、標準的手法適用分」の項ヘ欄の額と一致する。

㍿ 項番13「1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット」の項ヘ欄の額及び第十九面の項番13「1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット」の項ヘ欄の額の合計額は、第一面の「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項ヘ欄の額と一致する。

㍿ 項番14「内部格付手法適用方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項ヘ欄の額及び第十九面の項番14「内部格付手法適用方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項ヘ欄の額の合計額は、第一面の項番13「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法適用方式又は内部評価方式適用分」の項ヘ欄の額と一致する。

㍿ 項番15「外部格付適用方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項ヘ欄の額及び第十九面の項番15「外部格付適用方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項ヘ欄の額の合計額は、第一面の項番14「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、外部格付適用方式適用分」の項ヘ欄の額と一致する。

、第一面の項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、標準的手法適用分」の項ヘ欄の額と一致する。

㍿ 項番13「自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット」の項ヘ欄の額及び第十九面の項番13「自己資本比率告示第二百三十条第一項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット」の項ヘ欄の額の合計額は、第一面の「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項ヘ欄の額と一致する。

㍿ 項番14「内部格付手法における外部格付適用方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項ヘ欄の額及び第十九面の項番14「内部格付手法における外部格付適用方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項ヘ欄の額の合計額は、第一面の項番13「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における外部格付適用方式又は内部評価方式適用分」の項ヘ欄の額と一致する。

㍿ 項番15「内部格付手法における指定開数方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項ヘ欄の額及び第十九面の項番15「内部格付手法における指定開数方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項ヘ欄の額の合計額は、第一面の項番14「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における指定開数方式適用分」の項ヘ欄の額と一致する。

ⅱ 項番16「標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額及び第十九面の項番16「標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、標準的手法準拠方式適用分」の項ハ欄の額と一致する。

ⅲ 項番17「1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額及び第十九面の項番17「1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額の合計額は、第一面の「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項ハ欄の額と一致する。

○ [略]

㉔ [略]

【(第二十一面)～(第二十五面) 略】

ⅰ 項番16「標準的手法が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額及び第十九面の項番16「標準的手法が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額の合計額は、第一面の項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、標準的手法適用分」の項ハ欄の額と一致する。

ⅱ 項番17「自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額及び第十九面の項番17「自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の額の合計額は、第一面の「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項ハ欄の額と一致する。

ⅲ [同左]

○ [同左]

【(第二十一面)～(第二十五面) 同左】

(別紙様式第七号)

(第一面)

(単位：百万円)

OV1：リスク・アセットの概要					
国際様式の該当番号	信用リスク・アセットの額の算出対象とな っている証券化エクスポージャー	イ		ロ	
		リスク・アセット		[略]	
		当四半 期末	前四半 期末		
[略]					
12					
13	うち、 <u>内部格付手法</u> 適方式又は内 部評価方式適用分				
14	うち、 <u>外部格付</u> 適方式適用分				
15	うち、 <u>標準的手法</u> 適方式適用分				
	うち、1250%のリスク・ウェイト適 用分				
[略]					

(別紙様式第七号)

(第一面)

(単位：百万円)

OV1：リスク・アセットの概要					
国際様式の該当番号	信用リスク・アセットの額の算出対象とな っている証券化エクスポージャー	イ		ロ	
		リスク・アセット		[同 左]	
		当四半 期末	前四半 期末		
[同左]					
12					
13	うち、 <u>内部格付手法</u> における <u>外部格 付</u> 適方式又は内部評価方式適用分				
14	うち、 <u>内部格付</u> 手法における <u>指定関 数</u> 方式適用分				
15	うち、 <u>標準的手法</u> 適方式適用分				
	うち、1250%のリスク・ウェイト適 用分				
[同左]					

(注)
この面において使用する用語は、特段の定めがない限り、自己資本比率告示において使用する用語の例によるものとする。

[a~aa 略]

bb 項番13「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポートジャーのうち、内部格付手法準拠方式又は内部評価方式適用分」の項イ欄の額は、当四半期末を期末とする事業年度に係る別紙様式第二号第二十四面及び第二十五面の開示又は当四半期末を中間期末とする中間期に係る別紙様式第五号第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番10「内部格付手法準拠方式又は内部評価方式」により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

cc 項番13「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポートジャーのうち、内部格付手法準拠方式又は内部評価方式適用分」の項ハ欄の額は、当四半期末を期末とする事業年度に係る別紙様式第二号第二十四面及び第二十五面の開示又は当四半期末を中間期末とする中間期に係る別紙様式第五号第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番14「内部格付手法準拠方式が適用される証券化エクスポートジャーに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。なお、ロ欄及びニ欄の「前四半期末」が平成三十一年三月三十一日前となる場合には、当該欄は記載することを要しない。

dd 項番14「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポートジャーのうち、外部格付準拠方式適用分」の項イ欄の額は、当四半期末を期末とする事業年度に係る別紙様式第二号第二十四面及び第二十五面の開示又は当四半期末を中間期末とする

(注)
この面において使用する用語は、特段の定めがない限り、自己資本比率告示において使用する用語の例によるものとする。

[a~aa 同左]

bb 項番13「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポートジャーのうち、内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式適用分」の項イ欄の額は、当四半期末を期末とする事業年度に係る別紙様式第二号第二十四面及び第二十五面の開示又は当四半期末を中間期末とする中間期に係る別紙様式第五号第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番10「内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式」により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

cc 項番13「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポートジャーのうち、内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式適用分」の項ハ欄の額は、当四半期末を期末とする事業年度に係る別紙様式第二号第二十四面及び第二十五面の開示又は当四半期末を中間期末とする中間期に係る別紙様式第五号第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番14「内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポートジャーに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。

dd 項番14「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポートジャーのうち、内部格付手法における指定関数方式適用分」の項イ欄の額は、当四半期末を期末とする事業年度に係る別紙様式第二号第二十四面及び第二十五面の開示又は当四半期末

中間期に係る別紙様式第五号第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番11「外部格付進捗方式」により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

ee 項番14「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポートのうち、外部格付進捗方式適用分」の項ハ欄の額は、当四半期末を期末とする事業年度に係る別紙様式第二号第二十四面及び第二十五面の開示又は当四半期末を中間期末とする中間期に係る別紙様式第五号第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番15「外部格付進捗方式」が適用される証券化エクスポートに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。なお、ロ欄及び三欄の「前四半期末」が平成三十一年三月三十一日前となる場合には、当該欄は記載することを要しない。

ff 項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポートのうち、標準的手法進捗方式適用分」の項イ欄の額は、当四半期末を期末とする事業年度に係る別紙様式第二号第二十四面及び第二十五面の開示又は当四半期末を中間期末とする中間期に係る別紙様式第五号第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番12「標準的手法進捗方式」により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

gg 項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポートのうち、標準的手法進捗方式適用分」の項ハ欄の額は、当四半期末を期末とする事業年度に係る別紙様式第二号第二十四面及び第二十五面の開示又は当四半期末を中間期末とする中間期に係る別紙様式第五号第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番16「標準的手法進捗方式」が適用される証券化エクスポートに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。なお、ロ欄及び三欄の「前四半期末」が平成三十一年

を中間期末とする中間期に係る別紙様式第五号第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番11「内部格付手法における指定関数方式」により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

ee 項番14「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポートのうち、内部格付手法における指定関数方式適用分」の項ハ欄の額は、当四半期末を期末とする事業年度に係る別紙様式第二号第二十四面及び第二十五面の開示又は当四半期末を中間期末とする中間期に係る別紙様式第五号第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番15「内部格付手法における指定関数方式」が適用される証券化エクスポートに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。

ff 項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポートのうち、標準的手法適用分」の項イ欄の額は、当四半期末を期末とする事業年度に係る別紙様式第二号第二十四面及び第二十五面の開示又は当四半期末を中間期末とする中間期に係る別紙様式第五号第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番12「標準的手法」により算出した信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

gg 項番15「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポートのうち、標準的手法適用分」の項ハ欄の額は、当四半期末を期末とする事業年度に係る別紙様式第二号第二十四面及び第二十五面の開示又は当四半期末を中間期末とする中間期に係る別紙様式第五号第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番16「標準的手法」が適用される証券化エクスポートに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。

年三月三十一日前となる場合には、当該欄は記載することを要しない。

hh 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項イ欄の額は、当四半期末を期末とする事業年度に係る別紙様式第二号第二十四面及び第二十五面の開示又は当四半期末を中間期末とする中間期に係る別紙様式第五号第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番13「1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

ii 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項ハ欄の額は、当四半期末を期末とする事業年度に係る別紙様式第二号第二十四面及び第二十五面の開示又は当四半期末を中間期末とする中間期に係る別紙様式第五号第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番17「1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。

jj 項番13から項番15までの項のロ欄及びニ欄の「前四半期末」が平成三十一年三月三十一日前となる場合には、項番15と「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項との間に「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式適用分」、「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、内部格付手法における外部格付準拠方式又は内部評価方式適用分」の額の算出対象となつて指定関数方式適用分」及び「信用リスク・アセットの額の算出対象となつて証券化エクスポージャーのうち、標準的手法適用分」との名称の項（項番を付さないこと。）

hh 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項イ欄の額は、当四半期末を期末とする事業年度に係る別紙様式第二号第二十四面及び第二十五面の開示又は当四半期末を中間期末とする中間期に係る別紙様式第五号第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番13「自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット」の項イ欄の合計額と一致する。

ii 「信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーのうち、1250%のリスク・ウェイト適用分」の項ハ欄の額は、当四半期末を期末とする事業年度に係る別紙様式第二号第二十四面及び第二十五面の開示又は当四半期末を中間期末とする中間期に係る別紙様式第五号第十九面及び第二十面の開示を行う場合、それぞれの面の項番17「自己資本比率告示第二百二十四条第一項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本」の項イ欄の合計額と一致する。

【加える。】

<p>を追加すること。この場合においては、農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準等の一部を改正する件（平成三十一年金融庁・農林水産省告示第 号）</p> <p>第●条の規定による改正後の農林中央金庫の自己資本の充実の状況等についての開示事項の規定にかかわらず、追加するこれらの項のロ欄及びニ欄の「前四半期末」の記載は、なお従前の例によること（なお、イ欄及びハ欄は記載することは要しない。）。</p> <p>㍿ [略] ㍿ [略]</p>	<p>㍿ [同左] ㍿ [同左]</p>
<p>備考 表中の「」の記載は注記をみよ。</p>	<p>略</p>